

## 千葉県公共調達改革工程表の実施状況について

### 1 指針項目の達成状況

- ◇工程表に掲げた14の指針項目のうち12の項目について目標を達成。
- ◇残る2項目についても、効果を検証しつつ、国の制度や他県の動向を踏まえながら検討を継続。
- ◇「一般競争入札（建設工事・物品調達等）の拡大」、「総合評価方式の拡充」について、制度の恒常的な検証を行い、地元企業の育成にも配慮しつつ、改善を検討。

#### 【指針に対する主な取組の状況】

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
一般競争入札の拡大	2億円以上	5千万円以上	更なる制度改善を検討		
総合評価方式の拡充	試行	5千万円以上			
電子入札の拡大	試行	建設工事	物品調達等		
ペナルティー強化		指名停止期間 最長24ヶ月 損害賠償額 10%→20%			
物品調達等		一般競争入札 500万円以上			集中調達の 開始

### 2 取組の効果

#### (1) 公正な競争の確保

- ◇一般競争入札の拡大による競争性の確保。
- ◇競争性の確保を図りつつ、地域産業の育成にも配慮。
- ◇随意契約を見直し、競争入札へ移行。随意契約（相手方、契約金額、理由等）の公表
- ◇電子入札の拡大に伴い、入札時に参加者が顔を合わせる機会が減少。

#### 【これまでの主な実績】（出典）建設・不動産業課調べ

（単位：件、百万円）

		18年度	19年度	20年度	21年度
一般競争入札拡大実績	件数	40	87	272	315
	金額	21,606	19,592	39,456	44,970
落札率	(工事全体)	95.0%	94.1%	92.8%	92.6%
県内業者の受注割合	(工事全体)	65.6%	71.4%	71.7%	72.2%

※ 受注割合 = 県内業者受注額 / 発注総額

【随意契約見直しの状況】（出典）「契約に関する統計調査」管財課調査 （単位：件，百万円）

	17年度	19年度	20年度	21年度
契約件数	2,694 (27.0%)	1,994 (20.0%)	1,711 (18.1%)	1,715 (16.7%)
契約金額	72,669 (35.1%)	49,163 (25.7%)	43,758 (25.4%)	46,461 (22.8%)

※（ ）は当該年度の契約総数に占める割合

（２） 透明性の確保

- ◇入札監視委員会の審議概要や公共工事に係る情報（発注見通し、入札予定、入札結果等）をインターネットで公表。
- ◇指名業者選定理由、総合評価方式における評価調書、低入札価格調査の結果公表。
- ◇物品調達について、出先機関も含め集中調達。100万円以下の見積もり合わせについてオープンカウンター方式を導入。

（３） 品質の確保

- ◇総合評価方式の導入により、工事の品質に一定の向上。
- ◇低入札価格調査の内容の厳格化により、低価格入札者が落札するケースが減少。

【総合評価方式の導入効果】（出典）技術管理課調べ（H21年度は暫定値）

		18年度	19年度	20年度	21年度
実施件数		15件	81件	247件	318件
工事成績点	総合評価方式	77.1点	76.6点	76.9点	77.1点
	工事全体	73.5点	74.0点	74.5点	75.2点

【低入札案件発生状況（建設工事）】（出典）技術管理課調べ

	18年度	19年度	20年度	21年度
低入札発生件数	70件	43件	66件	55件
低価格入札者落札件数	69件	35件	31件	5件
落札率	66.2%	74.6%	81.4%	85.8%

（４） 内部統制機能の強化

- ◇外部有識者で構成する千葉県コンプライアンス委員会を設置。  
庁内組織として知事直轄の千葉県コンプライアンス推進本部を設置。  
（「千葉県コンプライアンス基本指針」の策定、「推進計画」の策定、実施）
- ◇弁護士・公認会計士による外部の通報窓口の設置。  
（通報手段の拡充、通報窓口の拡大を順次実施）

### 3 今後の課題

#### (1) 手続きの簡素化・迅速化

◇透明性、公正性、品質確保等に配慮しつつ、手続きの簡素化・迅速化が課題。

- ・「一般競争入札の拡大」、「総合評価方式の拡充」に伴い、技術資料のとりまとめや学識経験者意見聴取等の事務量が増加。
- ・低入札価格調査案件について、調査に期間を要し、事務量が大幅に増加する場合がある。
- ・経済対策、災害復旧事業に特段の配慮。

#### (2) 入札事務の適正化

◇入札・契約事務に関する組織のあり方について

- ・業者との癒着を排除するためにも、独立性の確保された組織において一括して行うことも効果的な対策の一つであると考えられることから、その効果を検証し、他県の動向も注視しながら引き続き検討する。

### 4 対応の方向性（案）

#### ◎オープンな手続きで、より良いものを、より早く、簡単な方法で。

公共調達改革の究極の目的は、手続きの透明性や公正性が確保され、限られた財源の中で費用対効果に最も優れた公共サービスを、適時に、簡易な手法で提供できるようにすること。

#### ◎引き続き「工程表」による進行管理を行い“改革”をアピール。

官製談合を契機に作成した現在の「工程表」は、一応の目的を達成。今後は入札・契約制度改革とコンプライアンスの定着を主目的としてリニューアルし、対外的にアピールする。

#### (1) 入札・契約制度に関する検証、評価と目標設定の必要性

手続き面での改革は進んだが、その成果を分析、検証、評価し、その結果から今後の改善方策、あるべき目標を定める必要がある。

#### (2) 事務の簡素化・効率化

現在、一定の物品等については集中調達を実施しており、その実施状況の検証を行うとともに、一部建設工事等への応用の可能性を検討する必要がある。

総合評価方式について、評価の透明性、公正性を担保しつつ、事務手続きの簡素化、効率化を検討する必要がある。

(評価事例の蓄積・分析・類型化により業務フローの定型化を図る、災害復旧事業の早期発注を進めるなかで、より簡易な入札手法を検討する等。)

#### (3) 内部統制機能の更なる充実

不祥事や法令違反のリスク低減と効率的な事務フローを両立させる観点から、入札・契約事務に関する組織のあり方を検討する必要がある。その際、他の都道府県における先進事例や、物品等の集中調達の実施状況を検証するなど、そのメリット、デメリットについて、様々な視点から検討する。

## 「千葉県公共調達改革工程表」の 実施状況等について

指針項目	具体的取組	実施時期等	スケジュール					実施状況			
			18年度以前	19年度	20年度	21年度	22年度				
官製談合の防止	(1) コンプライアンスの徹底	・所属長あてに依命通知するとともに、部課長会議等あらゆる機会を通じて注意を促し、コンプライアンスの徹底に努めている。今後、国や他県の規定内容、効果等を把握し、倫理規程等の制定について検討する。	一部実施済み 更なる取組を検討	○					達成	平成21年度に千葉県コンプライアンス委員会及び同推進本部を設置。コンプライアンスに関する基本指針を策定し、職員に周知徹底。また、具体的取組を盛り込んだ推進計画を策定のうえ実施。	
	(2) 内部通報制度の整備	・弁護士による外部の通報窓口を設置(18年4月)。	継続実施	◎					達成	平成18年度に通報窓口設置以降、外部調査員への通報手段の拡充(21年度)や外部調査員を4名に拡大(21年度)するなど改善に取り組んだ。	
	(3) 職員の再就職制限とOB等からの働きかけ防止	・再就職する職員に「県の公共事業に係る営業には2年間は従事しない」旨の誓約書を提出させるとともに、企業に対しても同様の主旨を文書で要請している。 今後、国家公務員法及び地方公務員法の改正の状況並びに他県の動向を踏まえつつ検討を進める。	一部実施済み 更なる取組を検討	○					達成	誓約の遵守を徹底することにより働きかけを防止。	
	(4) 議会や監査委員への適切な情報提供等	・入札監視委員会の審議概要を公表している。 引き続き情報提供方法等の検討を行い充実を図る。	一部実施済み 更なる取組を検討	○					達成	【建設工事】入札監視委員会の審議概要公表 【物品調達等】入札監視委員会の設置検討中 引き続き情報提供方法等を検討し充実を図る。	
談合を防止する入札制度の改革(建設工事等)	(1) 一般競争入札の拡大と指名競争入札の原則廃止	＜一般競争入札の拡大＞ ・19年10月から5千万円以上の建設工事に拡大する。 (現状:土木2億円以上、建築5億円以上)	平成19年 10月		●				達成	平成19年10月から5千万円以上の工事に拡大 一般競争入札 ⑩ 40件 216億円 → ㉒ 315件 450億円	
		＜不良不適格業者の排除＞ ・入札参加資格者名簿の有効期限の短縮等について検討する。 ・資格審査体制について検討する。	検討						●	検討	平成23年度から名簿登録に係る申請について県・市町村共同の受付窓口を設置。 次期名簿(24年度～)について有効期限の短縮等について検討
		＜品質確保＞ ・低入札価格調査実施要領を全面改正し、重点調査制度を定めた。 ・今後、検査・監督体制について検討する。	一部実施済み 更なる取組を検討	○	●					達成	平成20年8月から建設工事の低入札価格調査の内容を厳格化(調査報告書の様式等の整備、「価格による失格基準」の導入)。 平成21年度から建設工事に係る委託業務について調査制度を試行。
	(2) 地域産業の育成と公正な競争の確保	・建設工事の一般競争入札の拡大に当たっては、地域産業の育成と公正な競争の確保を考慮する。	平成19年 10月		●				達成	一般競争入札の参加条件の一つとして応札可能者20者以上確保できる地域等を設定	
	(3) 総合評価方式の拡充	・19年10月から5千万円以上の建設工事を対象に実施する。	平成19年 10月		●				達成	平成19年10月から完全実施 ⑩15件試行実施→㉒318件実施	
	(4) 電子入札の拡大	・17年度から試行、19年度から建設工事等の全入札を対象に本格導入。	継続実施	○	●				達成	【建設工事】平成19年度から全面運用 平成23年度から閲覧図書電子化 【物品調達等】平成20年度から全面運用	
	(5) 情報公開の推進	＜インターネットを利用した情報公開＞ ・公共工事に係る情報について、発注見直し、入札予定、入札結果等を、インターネットで公表している。	継続実施	◎					達成	平成18年度からインターネットで公表。	
＜指名競争入札における選定理由等の公表＞ ・指名業者の選定理由について公表している。		継続実施	◎					達成	建設工事について平成13年度から公表 平成20年度からインターネットで公表		
＜総合評価方式における選定基準、評価基準等の公表＞ ・評価基準、開札調書を公表している。		継続実施	◎					達成	平成18年度から開札調書の公表 平成21年2月から評価調書の公表		
＜低入札価格調査制度における調査結果の公表＞ ・調査結果の概要及び次順位者を落札者とした場合の決定理由を公表している。		継続実施	◎					達成	開札調書の公表に際し、低入札価格調査の結果(失格・無効等)を公表		

指針項目	具体的取組	実施時期等	スケジュール					実施状況		
			18年度以前	19年度	20年度	21年度	22年度			
談合を防止する入札制度の改革	(6) ペナルティの強化	<入札参加停止期間の延長> ・19年10月から指名停止期間を12か月以上24か月以内に延長する。	平成19年10月		●				達成	平成19年10月以降の指名停止について、県内での談合等の不正行為によるものに対し、指名停止期間を最低12ヶ月以上、最長24ヶ月に延長
		<損害賠償額の引き上げ> ・19年10月から談合等に起因する損害賠償額を10%から20%に増額する。	平成19年10月		●				達成	平成19年10月以降の契約案件について、談合等に起因する損害賠償額を契約額の10%から20%に増額
		<警察への談合情報の提供> ・調査が必要なものについては、公正取引委員会に加え、警察にも情報提供している。	継続実施	◎					達成	【建設工事】実施済み 【物品調達等】平成19年10月から実施 公正取引委員会に情報提供 警察に対する情報提供方法等を検討中
	(7) 物品調達等	<一般競争入札の拡大> ・19年10月から500万円以上(条件付)に拡大する。 (現状:WTO対象3,200万円以上)	平成19年10月		●				達成	平成19年10月から拡大 平成22年度から出先機関も含め物品を集中調達。 100万円以下の見積もり合わせについてオープンカウンター方式を導入。
	<低入札価格調査制度、総合評価方式の導入> ガイドライン等を整備し、制度の導入を図る。	平成19年10月		●				達成	平成19年10月から 委託業務低入札価格調査実施要領 委託等総合評価落札方式実施要領 を制定 平成23年度から 建物清掃等委託業務に係る低入札価格調査 制度及び最低制限価格制度の試行を実施。	
(8) 入札事務の適正化	・入札事務の専担組織の設置を含め、組織のあり方の検討を進める。 ・入札監視委員会に談合情報を調査検証する機能を付与することについても検討を進める。	検討						検討	専担組織設置の効果を検証し、他県の動向も注視しながら引き続き検討	
[建設業界の談合体質の一掃] 地域の建設業団体に対する企業倫理の確立等の要請	・建設業協会等に対し公共工事における談合の防止、企業倫理の確立等について要請を行っている。	継続実施	◎					達成	継続実施	
[建設業の構造改善] 技術力・経営基盤の強化、新分野進出、新技術開発等に対する支援	・千葉県魅力ある建設業推進協議会を設置し、ビジネスモデル、コンペ事業等を実施している。 ・建設業界等との意見交換の場を設けている。 ・建設業者の新分野進出、経営基盤強化を内容とする経営者講習会を開催している。	継続実施	◎					達成	継続実施	



達成  
検討継続

凡例	
●	目標達成時期
◎	H18以前に実施済み
○	H18以前に一部実施済み